

令和元年度 相模湖地区まちづくりを考える懇談会結果報告

- 1 日 時 令和2年2月3日(月)午後7時から午後8時33分まで
- 2 場 所 相模湖総合事務所3階大会議室
- 3 市側出席者 本村市長、下仲副市長、中島緑区長、石井企画財政局理事、鈴木緑区副区長
樋口市民局長、高梨市民局次長
- 4 出席委員等 18人
- 5 傍聴者 2人
- 6 懇談会の要旨

テ - マ	相模湖地区の活性化と魅力づくりについて
概要	<p>相模湖地区まちづくり会議では、暮らしの向上専門部会、地域の活性化専門部会、観光専門部会の三つの専門部会を設置し、地域の活性化や課題解決に向けて検討している。相模湖地区の活性化と魅力づくりについて、地域での取組状況を報告するとともに、市と協働して行うことができる取組について懇談したい。</p>
地区の取組状況等	<p>【暮らしの向上専門部会】</p> <p>相模湖地区では、人口減少が大きな課題であり、移住、定住の促進を考えていく必要がある。そのためには、若い子育て世代をターゲットに、子育てのしやすい環境整備や様々な世代間の交流ができる場の整備など、魅力ある地域づくりを進めていく必要がある。</p> <p>重点取組として、従前より検討してきた都立高校への進学については、過去の東京都の回答や市のアンケート等の経緯も十分考慮しつつ、緑区と連携を図っている八王子市に的を絞り可能性を追求している。保護者のニーズは小学校高学年まで枠組みを広げて私たちが把握する一方で、この問題は行政の後押しがなくては実現することは困難である。一步前に進めるように協働での活動をぜひお願いしたい。併せて、私立高校の授業料補助制度について、県外の私立高校に進学する生徒に対しても助成してもらえるように検討していただきたい。未来を担う子どもたちに少しでも多くの選択肢を示し、将来の進む方向を考えられる環境の整備を共に考えていきたい。</p> <p>様々な世代間交流ができる場について、具体的な内容として千木良公民館別館の耐震対応での取り壊しや千木良保育園の閉園が今取りざたされている。建物・土地の有効活用の方向性について共に話し合えないか。</p> <p>また総合事務所に勤務する職員数の減少により空き部屋があると思うが開放して有効な活用ができないか。公共施設の活用については、市全体を一律ととらえるのではなく、自然豊かな緑区ならではのセールスポイントが作れるか、市長が掲げられているシビックプライドを目指し、地域への愛着が深まり、住みたいと思えるように対話をしてお互い納得しながら前に進めるような方向性をこれから見いだしていきたい。</p> <p>【地域の活性化専門部会】</p> <p>地域の活性化につながる取組について検討しているところである。県立公園駐車場について、現状では休日など有料であるため外から来た人が相模湖に立ち寄れずに通過してしまうということを良く聞く。県立公園駐車場の減額・無料化や</p>

	<p>ホームページを活用した効果的なPRなど、相模湖が、だれもが気軽に利用でき、集客が見込めるレジャー施設となるよう検討していく。また湖畔商店街の空き店舗を活用し、野菜等の販売を行うなど、相模湖畔の活性化について検討していく必要もあると思う。</p> <p>県が整備したボート競技のコースをオリンピックのレガシーとして活用し、国際大会の誘致などにも取り組んでいきたい。</p> <p>緑区の特設サイトの活用などインターネットによる相模湖地区の魅力の発信についても検討していきたい。</p> <p>インターネットの課題に限らず、どの課題も現状の共有まではできるが、具現化していくために様々な情報収集をしていきたいと考えており、市からご意見をいただきたい。</p> <p>【観光専門部会】</p> <p>相模湖地区には、相模湖、プレジャーフォレスト、石老山、小原宿本陣等があるが、こうした資源をさらに高めていける方法を考えていきたい。また観光施設へ誘導するルートづくりや施設間のネットワークづくりについて検討する必要があると考えている。</p> <p>石老山を中心に、劣化した登山道の整備や駐車場、トイレ、案内板等の設置などに取り組んでいる。</p> <p>小原宿本陣の整備や本陣を活用した地域活性化の取組について、小原宿本陣は老朽化等しているため、今後の対応について市と共に考えていきたい。</p> <p>観光客を高尾山から相模湖へ誘導するルートづくりや景観伐採などを行っている。高尾山から小仏城山までは観光客は来るが、小仏城山から相模湖に来る人が非常に少ないことも鑑みて、ルートづくりやプレジャーフォレスト、相模湖湖畔へ誘導するようなネットワークづくりやあり方について検討していきたい。特にプレジャーフォレストを中心としたレジャー誘導等について考えていきたい。</p> <p>昨年の台風で石老山が酷い被害を受けたが、東海自然歩道であるため地区では手が付けられない状況であるので、県や国に対して市から整備について申し入れていただきたい。また、頂上にトイレ等の整備を早急に行っていただきたい。</p>
<p>市の取組状況等</p>	<p>【暮らしの向上専門部会】</p> <p>都立高校への進学については、昨年のまちづくり懇談会でも話があり、神奈川県教育委員会を通じて東京都に話をしているが、未だ実現していない状況である。政治的な部分も鑑みながら進めていきたいと考えている。併せて、県外の私立学校に通学する場合の補助制度の適用については、実現可能な方策があるかまず仕組みを検証していく。現在の制度で難しいならば新制度を作っていく必要があると思うので、教育委員会と調整しながら現状の把握と今後に向けた考え方等について整理していきたい。</p> <p>千木良公民館は耐震性が非常に厳しい状況であり、今後、使用について皆様と議論しなければならないと思っている。現在、若い子どもに畳の部屋で遊んでいるが、子どもたちに危険が無いような形で早急に対応をさせていただいた。公民館と保育園については、市全体の行財政構造改革プランの中で公共施設のあり方等も検討している。その中で方向性を受けて、皆様と話し合いながらより良い方向に進んでいきたいと思っている。</p>

【地域の活性化専門部会】

県立公園駐車場の無料化については非常に難しい課題だと思う。まず湖畔に人が多く来られるような様々なプランニングを地域の皆様と観光協会、また市も加わり三者連携によって企画をしていくことが必要ではないかと思う。湖畔と観光部門との連携が取れてないところもあるので、連携がうまくいくように区で様々な調整をしているところである。また、さがみ湖湖上祭や、やまなみ祭など湖畔でのイベントにおける誘客の方法や対象者の見方について、民間の知恵を借りて考えていく必要があるのではないかと。

オリンピックにおける昨年のテストキャンプの時に相模湖と藤野の方々に歓迎レセプション等の対応をしていただいた。今年の事前キャンプも皆様方のお力をお借りしてカナダチームを歓迎したいと考えている。またポートコースについては、県で整備していただいたので、大会の誘致などについてもスポーツ関係部局と調整しながら考えていきたい。

情報発信等については、ホームページやSNS等様々な方法があり、例えばインスタグラムを利用するなど今後も一緒に検討させていただきたい。

【観光専門部会】

小原宿本陣は、文化財の指定について県から国への格上げができないか働きかけをしているが、現状としては非常に難しいと思っている。緑区と教育委員会で連携し、文化庁に働きかけをしている中で、証拠となる資料が無いのでそのような資料があればより深く検討ができるというお話もいただいている。格上げがあれば、それに伴い財源の裏付けも出てくるため整備の拡充も可能になるので、引き続きサポートしながら小原宿周辺の活性化を図っていきたい。また市としても、小原地区については、小原宿活性化推進会議と協力しながら今後の方向等について一緒に議論して、様々なサポートをしていきたい。

石老山は今回の台風で甚大な被害を受け、県からは復旧には最低でも3年かかると伺っている。東海自然歩道の部分については、まだ足も踏み入れてない状況と聞いているので、まず東海自然歩道の被害状況を把握し、復旧について市から県へ促していきたい。また石老山周辺は相模原市市民の森基本計画の中で、市民の皆さんとNPOの皆さんで様々なソフト展開をしていただき、ある程度軌道に乗ったら次の段階へということだった。まずは災害からの復興を優先し、散策路の部分等については仕切り直す必要があると考えている。

高尾山については、登山客をさばききれない状況のため、受け入れについて八王子いちよう祭り実行委員会から依頼をされている。千木良には高尾山からのルートがあるが、麓に駐車場や公共交通が無いため途中で戻ってしまうような状況があると思う。観光全体また地域活性化全体のプランと整合や調整を図りながら、どのように誘導するかを八王子市と取り組んでいる八相連携事業の中で検討するとともに、地域の皆さんにご意見を伺いながら進めていきたいと考えている。

(緑区役所)

懇談内容

地区の発言

相模湖から城山高校まで通学するのに、現在、1ヶ月に1万8,000円の交通費が掛かっている。また緑区でも青根など遠いところに住んでいる子どもたちは、高校へ通うために橋本などにアパートを借りていると聞く。そこまでして通学しなければならないという地域格差があることを市長にもご理解いただきたい。例えば1万円以上交通費が掛かった場合、市から補助がされるような制度はできないか。

移住・定住については、実際に引っ越して来た方は、悪い条件を念入りに調べて引っ越して来ている部分もある。近隣の八王子市などへ電車で通学できれば負担も軽くなるし、相模湖に引っ越してみようという保護者もいると聞くのでご検討いただきたい。また引っ越して来たくても相模湖の人は土地や空き家を売ってくれないという状況があるため、費用が掛かっても奇抜な事をしないと、定住・移住の促進は難しいのではないかと。

小原地域は、本年4月に小学校への新生は1人で、それより小さい子どもは1人もいない状況である。小学生が少なく、1人で帰宅しなければならないことは危険であるため、実際に引っ越しを考えている人もいる。児童館ではないが、総合事務所に空き部屋があるなら集まれる場所を確保していただきたいと強く思っている。

小原宿本陣は、以前建て直す計画があったと思うが、その後どうなったのかお伺いしたい。また小原宿本陣については、耐震性についても非常に厳しく、本来は保存するのか取り壊すのか、建て直すのかということから議論を始めるべきではないかと思うので検討いただきたい。

市の発言

都立高校の件については、継続的に東京都には話をしているが、人口も増加している状況もあり東京都の教育委員会からは現状では受け入れは難しいという回答をいただいている。都立高校への進学は、できれば実現していきたいが、政治的な状況も踏まえ、粘り強くやっていくことが必要であると思っている。

緑区の中山間部については人口減少が著しく、昨年の台風での災害がこれに拍車を掛けるのではないかと危機感を持っている。緑区では、防災・減災について対応するとともに、中山間地域対策として、人口減少に一定の歯止めをかけて、移住・定住を推進することを緑区基本計画の中でうたっている。緑区には地域既存住宅リフォームの制度があり、移住相談などを受けて一定の条件により助成している。移住・定住を推進する場合には、財政的支援も必要であるが、教育環境や交通環境が移住・定住に関わる大きな要因だと思っている。特に相模湖、藤野、津久井地区にお住まいの方は、駅までの交通手段の確保が難しく、また中央本線が高尾以西は運転本数が縮小されるという状況がある。上野原市からは相模原市と一緒に活動をしていきたいという要望もあることから、広域連携によりまずは交通網の充実を図り教育環境を改善していくことよって、移住・定住の推進や地域の活性化にもつながっていくのではないかと考えている。

児童クラブについては、昨年度のまちづくり懇談会の中で話を聞き、個別案件として担当部局に相談をした。担当部局としても非常に大きな課題と認識しているが、市内一律の制度であり人数要件や指導者不足など現状では難しいので、庁内分権などと調整をしながら検討していく必要があると思っている。

	<p>小原宿本陣に関しては、数年前に計画を立ち上げた時には、財源的な保障が取れた形で進めていこうということであったが、現在本市は財政的に非常に厳しく、現状としては財源確保という大きな壁があり手が付いていない状況である。行財政構造改革と合わせ、特定財源が確保できるように、文化財の格上げを文化庁に働きかけているが、現実的には厳しい状況である。当然、小原宿本陣が一番の魅力であるが、本陣祭や小原の郷の活用なども取り入れながら、小原周辺地域全体の連携等踏まえ、様々な取組を共にやっていきたいと思っている。</p> <p style="text-align: right;">（緑区役所）</p>
地区の発言	<p>昨年の台風による大きな災害からの復旧・復興に取り組んでいただいていることに感謝している。土砂の撤去等、地域でも取り組んでいるが限界があるので支援していただきたい。</p> <p>相模湖ミュージックパークという事業において、相模湖商工会青年部とのコラボレートにより、1団体で実施するよりも大いに盛り上がった経験がある。相模湖地区の魅力づくりについては、様々な団体がそれぞれの企画・立案の下で実施をしているところであるが、コラボレートすることで盛り上がっていくのではないかと。魅力あるものにしていくには、コラボレートするために話し合う機会をまちづくり会議の中で考えていく必要があると感じたがアドバイスをいただきたい。</p>
地区の発言	<p>地域を活性化していくために、様々な団体と連携しながら進めていけるようなネットワークをどういうふうに作っていくかが1つのキーポイントではないか。</p> <p>移住・定住については、相模湖地区の活性化には切っても切れないことだと思う。また都立高校への進学については、すぐに実現しないと思うが継続して取り組んでいきたい。</p>
地区の発言	<p>未就園児を抱えているお母さんたちが千木良公民館別館で子育てサロンを行っている。子どもが少なくなり幼児を預ける場所が減っている中で、同年代の子どもを持つ方たちが相談できる場所は非常に重要だと思う。千木良公民館が耐震性の問題で使えなくなるのであれば、別の場所を確保していく必要があると思う。</p>
地区の発言	<p>相模湖公民館では料理実習はできないので、料理ができる千木良公民館は貴重だと思う。</p>
地区の発言	<p>市民の森に関して活動をしており、10月15日付の広報さがみはらで11月に開催するイベントの周知をした。広報の発行と同じ頃、台風により石老山は被害を受けたが、多くの方からイベント参加の申込があった。中央区や南区の方は、土砂災害のニュースは見ていても山の中が滅茶苦茶になっていることには気づいていないということに驚いた。それ以来もっと中央区や南区の人に緑区の山、森など自然の良さを知って欲しいと思っている。</p> <p>石老山に行けなくなった代わりに県立津久井湖城山公園に行く機会があったが、ムササビ観察会など様々な面白いイベントがあり、多くの方が参加していた。また花植えや森の手入れなどの多くのボランティアの方に協力してもらい運営されていた。相模湖を利用して、例えば流木観察会や湖に住んでいる魚類の観察などのイベントを開催できれば良いと思う。</p>

市の発言	<p>市民の森を作った目的は、緑区の豊かな自然を中央区や南区の方に知ってもらうことや自然に親しむことを体験を通して育んでいただくことである。市民の森は、最初の3年間は様々な形でNPOにご協力いただいた中で、林業体験や森林体験をしていただき、現在は次のステップに進もうとしているところである。</p> <p>他区との交流については、相模湖、藤野、津久井地区での里山体験ツアーを年に2～3回実施しているところであり、里山体験ツアーについてはすぐに定員に達するような状況である。また藤野地区自治会連合会と相模台地区自治会連合会は、様々な体験や視察など相互交流をしていただいている。</p> <p style="text-align: right;">（緑区役所）</p>
地区の発言	<p>市民の森の関係は、相模湖地区の大きな資源になると思うので継続的に取り組んでいただきたい。市民の森のイベントでは「そば作り友の会」として協力させていただいている。また会のメンバーは緑区全体から集まっているので、ネットワークづくりにも協力できると思う。</p>

市長の感想等	<p>都立高校への進学に関しては、移住・定住にも関係する話である。市長選挙を通じて、相模湖地区や藤野地区の皆さんが子どもの進学を機に八王子市などに移住をするというお話を伺ったので、就任早々、神奈川県教育長にお会いし、難しい部分もあるが県としてもう一度本格的にとらえていきたいという回答をいただいている。</p> <p>また、県に任せるだけではなくて、小田急多摩線の延伸と都立高校への進学については、東京都知事に直接お会いしたいと思っている。</p> <p>自分が住んでいる区の事は知っていても他区の事は知らない事が多い。シビックプライドという言葉を使って、市民の誇り、共感、郷土愛を育むという話もしているが、もっと各区の事を知っていただき、市民同士がもっと行き交う事によって、相模原市の魅力を知っていただきたいと思っている。</p> <p>小原宿本陣を観光の名所にしていくためには、周辺施設において飲食や買い物ができるような形にしていく必要もあると思っている。今後も県や国と連携を図りながら小原宿本陣の特色をしっかりと活かしていきたい。</p> <p>相模湖地区の高齢化率は市内で最も高くなっている。高齢化率が高いということは、それだけ子育てを経験した世代の方がいらっしゃるということであると思う。そうした方が若い子育て世代の皆さんの相談役になっている地区もある。移住してきた方や知らない場所に嫁いで来た方が、話ができる場所が無いのは不安になると思うので、集まれる場所は非常に大事であると思っている。公共施設の有効活用についてもしっかりと検討していきたい。</p> <p>本日は様々なご意見をいただいたところであり、これからは皆さんと対話をしながら、たくさんの方の声を聴いていきたいと思っている。</p> <p>相模湖は全国から注目されている地域であるため、例えば民泊や空き家の利用、また地域の皆さんも協力していただいた中での湖面利用など、まず相模湖に人を集めるような対応をしていきたいと思っている。</p> <p style="text-align: right;">（市長）</p>
--------	---